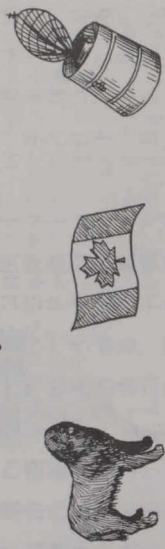


# カナダ人の誇り

—Today誌の調査より—

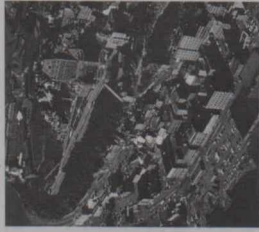


カナダ人が最も誇りにしているものは何だろうか。新聞の付録としてカナダ全国で配布されている雑誌Todayが、読者から募って「ベスト15」にまとめた。その中からいくつか拾ってみると――。

一八〇八年にオンタリオ州ミルトンのピーター・L・ロバートソンという人が考案した、頭部に四角形の穴がついたネジとドライバー。片手でも簡単に締めることができ、しかもトルク（ねじりモーメント）が大きいのが特徴。

カナダの芸術や文学などの育成・発展に力を入れているカナダ・カウンシル（文化振興協会）、雄大な景観で国内外の観光客や保養客を集めている国・州立公園、赤と白の鮮やかなカエデの国旗、テレビやラジオの中継に利用されている国内

セントローレンス川に臨むケベック市



通信衛星「アニク」なども、カナダ人の誇り。そのほかには、次のようなものや人物、あるいは場所があげられている。

●サゲネー川 ローレンシアン楯状地の深い峡谷を流れるサゲネー川の沿岸は、世界でも屈指の景観として有名。

●小麦 カナダの硬質春小麦は、パンなどに使われる上質小麦として世界的に知られている。日本がカナダから輸入しているのも、すべてその品種だ。ソ連や中国でも、食糧としてだけでなく、品種改良の交配用にカナダの硬質春小麦を輸入している。

●ケベック市 「岩山にたなずみ、大海の湾のごとく広々とした川に洗われ、要塞化した頂きからはるか眼下に広がる……」と、十九世紀米国の文豪ヘンリー・ジェームズが表現したケベック市は、カナダ最大の観光名所のひとつ。

●ナショナル・バレエ学校 ロンドンのロイヤル・バレエ学校やレニングラードのキエフに匹敵するバレエの名門校で、有名なバレエ・ダンサーを数多く輩出している。

●フクロウ繁殖研究所 世界でもユニークなこの研究所（オンタリオ州セント・キャサリンズ）は、野生フクロウの繁殖を専門に研究している。

●マーガレット・ローレンス マニトバ州出身の作家。A Jest of God（総督

名馬ノーザンダンサー



●ニューフアンドランド犬 水かきのついた足、ふさふさと厚くて油成分を含んだ毛――カナダ原産のこ

の犬は、漁には欠かせないお供だ。これまで数多くの漁師を救っている。

●オラクル・ターンテーブル ケベック州シャープルック大学の哲学教授がデザインしたこのターンテーブル（レコードプレーヤーの回転盤）は、International Audio Review誌から最高級の折り紙がつくほどの名品で、世界中から寄せられる注文に生産が追いつけないという。

●「カナダーム」 宇宙の腕としてその優秀性を実証したスペースシャトルの遠隔操作システム。カナダにおける宇宙工学のレベルの高さを示した。

●モーリー・フォレスター マーラーとドイツ歌曲の世界的歌手。



●ノーザン・ダンサー 一九六一年にトロントで生まれた世界的な種馬。その子孫は日本を含め多くの国で優勝している。

●アン・マレー 数々のジュノー賞、三回のグラミー賞に輝く国民歌手。

●オスカー・ピーターソン モントリオールで生まれ、現在はオンタリオ州ミシシガに住む、ジャズ界の王者の一人。

●肥満治療 インスリンを発見し、人工臓器を開発したカナダは、肥満治療の先進国だ。

●ストラトフォード・フェスティバル 北米随一のシェイクスピア劇場。英国のストラトフォードとそっくりな作りで、カナダや英国の名優が、毎夏、シェイクスピア劇を演じている。

モーリン・フォレスター



●太平洋沿岸インディアンの芸術 文化人類学者レヒストロースによると、

ハイタ族インディアンやクワキウートル族インディアンのトーテムポールや仮面は古代ギリシヤの芸術に匹敵するという。

その他、オカ・チーズやチエター・チーズ、バンクーバー島のロング・ビーチ、九九・九八パーセントの純度を誇るマグネシウム、昨年亡くなった天才ピアニス

トのグレン・グールド、高さ五百五十メートルのCNタワー、ホッケー界のヒーロー・ウェイン・グレッツキー、俳優のドナルド・サザランド、低燃費ジェット「チャレンジャー」、カナディアン・ロッキ―などが、ベスト15に入っている。